



かわらばん！ プログラム ②

コラボで地域の問題解決!!



～下ノ江町・高坂町等地域福祉委員会・社会福祉法人施設・活動団体がつながって～

能美市生活支援サービス推進協議体の報告会

平成31年2月23日(土)10時30分～12時
「ふれあいプラザ」において、市内町会長や民生委員等地域福祉委員会に関係する方や社会福祉法人の方々など100名が集い、いろいろな連携による日常生活の支援活動があることを学びました。

月	火	水	木	金	+	日
					2/23	2/24
2/25	2/26	2/27	2/28	3/1	3/2	3/3

内容

能美市が共生社会の実現に向けて進める「我が事・丸ごとの地域づくり推進事業」・地域包括支援体制の関係組織として位置付けられている「能美市生活支援サービス推進協議体」では、多様な団体が参加し“住民が支え合う地域づくり”を目指し、地域にある生活の困りごとの解決について多角的な視点で話し合っています。平成27年度からの経過と、継続協議している大きな課題(①少し虚弱になった方の集いの機会が必要 ②男性の大きな力の発揮を希望 ③住民が関われる買い物・移送の活動を探る)について、中学校圏域にいる2層生活支援コーディネーターが会話劇でわかりやすく紹介しました。そして、特にテーマを「住民が関われる買い物支援・移送」に絞り、社会福祉法人が持つ施設と地域や民間団体がコラボレーションし、課題解決に向けて取り組む活動事例を基に学び合いました。

まとめ <コラボレーションの活動を紹介>

- ・下ノ江町・高坂町地域福祉委員会と(社福)喜峰会・・・施設が地域貢献を希望。町側へ2層生活支援コーディネーターを通し働きかけ、「おでかけ支援」として施設行事に同乗した試行。
- ・(社福)湯寿会と認定NPO法人えんがわ・・・週2回の買い物支援に施設車両を提供。(継続中)
- ◆小松市高堂町と社会福祉法人明峰会とのコラボから学ぶ・・・個別課題を基に調査し、法人の社会貢献として町会と協議し、施設車両による月2回の買い物支援を平成28年度から実施。無料の地域貢献活動としての法人内の合意形成や費用についてなど活発な話し合いがされました。法人・地域の双方が無理せずできることをしっかり話し合うことが重要であり、受け入れる町会側の意識の高まりやまとまりも重要であることを参加者は理解し合いました。

参加者の感想

- ・社会福祉法人の手助けがあることを知って大変関心を持てた。明峰会さんのお話がわかりやすかった。
- ・地域住民のことをちゃんと聞くことで課題が見え、すてきな事例が生まれることにつながると改めて感じた。
- ・足の問題は本当によく耳にします。何か出来ればと思う。地域として地域福祉委員会の充実を図っていきたい。



「さあ、能美市でもどどんつながれたらいいなあ。」と、熱い思いを語り合いました。

